

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：事務局

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第1回 防災・あんしん部会			
(2) 開催日時	令和5年6月7日(水) 13:30 ~ 15:30			
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室			
(4) 出席した 委員、事務局等	委員 (部会長：志村 陽子) <敬称略>			
	蛭子 明子	福田 美和		
	事務局：森合 美穂、秋山 仁志、檜山 咲紀、江川 奈保美、堀内 蘭			
1 連絡・確認事項				
(1) 司会・書記の確認 司会：志村部会長 書記：事務局				
(2) 参加者・配布資料の確認 令和5・6年度の防災・あんしん部会は、本会委員6名が参加する。事務局は引き続き支援調整担当が担い、令和5・6年度は職員5名が参加する				
(3) 大田区自立支援協議会について				
ア 自立支援協議会の役割 事務局から、自立支援協議会について資料を用いて説明を行う。協議会の役割は、本会で説明をさせていただいたとおり、地域の課題や困りごとについて、解決策を含めて具体的な検討を行う場と位置付けられている。防災・あんしん部会では、昨年度実施したカフェや専門部会内の意見交換の際に課題を抽出できているため、今後は課題に対してのアプローチ方法を検討することとなる。				
イ 専門部会のみ委員の推薦の流れ 令和3・4年度と同様に、令和5・6年度の専門部会のみ委員の推薦は、各部会で取組むテーマを定める課題先行型とし、課題に応じた方を本会委員が推薦する。今後のスケジュールについては、第1回専門部会に参加する本会委員と令和5・6年度のテーマについて検討し、そのテーマに応じて専門部会のみ委員が推薦される。締め切りについては、7月を予定していたが、第2回専門部会の開催時期を考慮し、再検討している。前期も、必要な検討事項に応じて福祉管理課や障害福祉課より参加があったため、令和5・6年度も必要に応じて声掛けをする。				
ウ 令和5・6年度自立支援協議会 第1回運営会議報告 自立支援協議会の運営会議は、会長、副会長、各専門部会長、事務局が参加し、自立支援協議会の全体を調整する役割としている。第1回は5月に開催した本会の流れや、専門部会のみ委員の推薦方法について検討を実施した。運営会議で検討した内容は、専門部会で共有をしていく。				
2 議題				
(1) 昨年度までの専門部会活動について 昨年度は、区が提示している個別避難計画についての意見交換と、権利擁護についてお互いを知るきっかけとして、専門部会内であんしんカフェを開催実施できた。自助ツールのひとつであるヘルプカードについて検討ができていないが、自助の取り組み				

として、災害時に避難するだけでなく自ら身を守る考え方をする在宅避難について学んだ。

(2) 防災・あんしん部会の取り組みについて

ア 令和5・6年度専門部会のテーマと課題策定

防災・あんしん部会として取り組むべき地域の課題、テーマについて検討をする。

- ・テーマを防災と権利擁護、それぞれで考えるか検討が必要。
- ・防災画から考えると防災訓練への参加、ヘルプカードの周知、個別避難計画への意見、自助のしくみを考えるといった検討課題がある。
- ・ヘルプカードは内容の見直しを含めて、本人情報を更新しているのか専門部会委員を含めて情報交換をした方がよい。
- ・防災は「地域とつながる」をテーマに、地域の防災訓練が予定されているのであれば、参加について検討する。また、ヘルプカードなど自助ツールの周知などアウトリーチの方法を考える。他にオブザーバーとして、地域と関わっていければ良い。
- ・権利擁護は、『立場を超えて知り合う』をテーマに、カフェの実施方法を検討する。今年度は協議会全体への参加の呼びかけ、来年度は協議会外への参加の呼びかけをする企画ができれば良い。カフェの企画に関しては、実行委員会をワーキンググループで立ち上げもを視野に入れる。

⇒防災の取り組み内容と同様に、権利擁護も地域とのつながりを意識した取り組みが多いため、テーマは「地域とつながる」に統一する。

- ・カフェの開催方法については、18出張所の各エリアでカフェを実施、委員の所属団体にカフェを開催、他にも課題抽出を目的に、テーマを投げかけ、委員の出身団体に話し合った内容を部会に上げてもらう、交流会を活用し意見交換することでお互いを知などの方法が考えられる。

●令和5・6年度防災・あんしん部会テーマ：「地域とつながる」

- ・防災訓練や地域の活動に参加するなど、ヘルプカード他の自助ツールについて、地域に知ってもらうためのアウトリーチの方法を検討する。
- ・障がい別、地域毎に交流できる場所を企画し、お互いをもっと知り合う方法を検討する。

イ 専門部会のみ委員の確認

令和5・6年度の専門部会のみ委員は、本会委員から推薦をされて決まる。

- ・令和3、4年度の専門部会のみ委員に継続の打診を行う。
- ・新しく社会福祉協議会社協で地域コーディネーターをされている方、こども食堂を運営されている方、就労支援支援B型事業所の支援員など、専門部会のみ委員に推薦を検討している。

⇒専門部会のみ委員の打診については、部会長を中心に行う。

ウ 第2回専門部会の日程について

第2回専門部会の日程について、7月5日(水)、7月12日(水)、8月2日(水)が候補となる。専門部会のみ委員の推薦締め切りが6月末となった場合、7月5日(水)では、推薦された委員の日程調整が難しい可能性がある。

⇒8月開催では期間が空くため、7月12日(水)を第2回専門部会とする。会場はさぽーとぴあが予約いっぱいのため、新井宿特別出張所3階会議室となる。

3 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 情報提供

ア 「避難行動要支援者対策連絡会」の報告

6月5日に開催され、大田区自立支援協議会の代表として志村部会長が参加した。議題は、個別避難計画の作成についてが主だった。障がい分野では、個別避難計画を支援者が作成する対象について、拡大を検討している。

※次回の日程

専門部会：令和5年7月12日（水）13時30分～15時30分 新井宿特別出張所3階会議室